

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和5年6月1日(木) 9時30分開議 令和5年6月1日(木) 15時10分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋座長、原田豊彦副座長、齋藤泰博委員、足立義則委員、安井博幸委員、隅田雅春委員
4. 欠席議員	なし
9. 会議に付した事件	・議案第38号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算(第3号)
10. 議事の経過	<p>向井座長 挨拶</p> <p>向井座長 開議宣告</p> <p>9:30 開議</p> <p>日程第1 議案第38号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算(第3号)</p> <p>社会教育部</p> <p>■社会教育課、文化財課</p> <p>【主な質疑】</p> <p>隅田委員 保健体育施設費に関し、西紀運動公園は、費用が安くなるということでリースによる委託契約を行う、また篠山城大書院は、施設の照明の規模が小さいので工事を行うということですが、手法を検討する基準、明確な分岐点はあるのでしょうか。</p> <p>社会教育部 西紀運動公園につきましては、電気代が約2,500万円程度でございます。その内で、照明に係る電気代が250万円程度になり、LED照明に更新することで照明に係る電気代が3分の1に削減できます。今回のリースにより削減できる3分の2でリース契約が賄えることからリース契約を採用しています。他の施設については、電気代に占める照明に係る電気代がどの程度なのか、各施設で</p>

足立委員	<p>調査が必要になります。リースと工事の明確な分岐点は、施設の特性によって判断が分かります。</p> <p>今の西紀のLEDの件ですが、10年間のリース契約ということですが、管理はリース会社がしてくれるとしたら、LEDは長もちするという話ですけれども、切れた場合はリース料のお金で交換してもらえると認識でいいのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>おっしゃるとおりです。この10年間のリース期間につきましては、照明機器に不具合が生じた場合につきましては、リース契約の中で対応していただきます。仕様書の中で、メンテナンスについては市内の事業者を活用するような形の仕様書にしたいというように考えています。</p>
安井委員	<p>既にスポーツセンターのテニスコートにLEDの照明を導入されておられると思いますが、夜間テニスコートを利用されている方によると、LEDになってから指向性が強くなって前と感じが違うと指向性の問題を指摘されていましたが、西紀運動公園の場合におきまして、夜間の練習に対してその辺の問題はクリアされているのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>LEDと水銀灯では、光の照らし方がそもそも違いますので、多少の影響はあると考えています。ただ、LEDにすることで明る過ぎるという話もありますので、調光による明るさの調整や目的によって照明を複数パターン化することも出来ますので、施設に合った照明照度で対応したいと考えています。先ほどおっしゃったスポーツセンターのテニスコートの夜間照明が明る過ぎるということがありますが、それについては調光を今指示しています。また、光の照らし方が、直線的になりますので、影の部分があり少し薄暗く感じておられるということもお聞きしていますので、そういったところについては、LEDの増設で今年度対応しようと考えております。</p>
安井委員	<p>テニスコートと同じように運動公園も、利用者にとって前と使い勝手が悪くならないように対応していただければいいかと思えます。それと、電気料金が10年間ずっと20円ほどで試算されているのですが、最近電気代の値上がりかたを見ると10年先に20円で見込めないような気がするのですが、電気料金を一定の金額で試算されている根拠はあるのでしょうか。</p>
社会教育部	<p>原油価格の高騰に伴い、燃料調整費等が上がってきているのが現実だと思っています。ただ、社会情勢上、どのような変化がある</p>

隅田委員	<p>というのは、見通しが立ちませんので、現時点のシミュレーションという形になっております。電気代の高騰については、今後も検討していきたいと考えています。</p> <p>入札方法として、一般、指名競争入札になるというように書いてあるのですが、大体何社ぐらいが対象になるのかということと、工事であれば、落札予想価格が90%ですが、リースだと60%として見込んでおられる根拠をお願いしたいと思います。</p>
社会教育部	<p>追加資料の1ページ目の従来型工事について説明させていただきますと、概算金額1,000万円は、直接工事費になります。従来型の公共工事が発注した場合は、約2倍の経費がかかります。工事金額は、2,000万円になります。それに対して最低制限価格を設けますので、それでいくと落札率は大体90%ぐらいと想定し、落札金額が1,800万円程度となると見込まれます。起債の借入交付税のことを考えると、市の持ち出しは1,030万円程度になります。リース入札につきましては、直接工事に対し、リース料20%を上乗せして、1,200万円で更新できます。落札率について60%というのは、他市の状況等を考慮して想定をしており、720万円程度で落札されるということになると、市の持ち出しが720万円ということになり、リースで分割していくという形になります。リース事業者につきましては、指名願の中では8社程度あり、市内事業者も登録されています。</p>
安井委員	<p>リース料金は10年間、毎年同じ金額で計算されていますが、10年間の内には物価の変動、社会情勢の変化により金額が上がるといったことはないという契約でされるものなのではないでしょうかそれとも、状況が変化すれば考慮して変わるものなのではないでしょうか。</p>
社会教育部	<p>リース料につきましては、変動はないと考えています。</p> <p>電気代につきましては、当然LEDに変えることによって下がりますので、電気代を含めて指定管理料を支払いしていますので、下がった段階から減額をしていくような形で対応したいと考えています。</p>
原田副座長	<p>同じく西紀運動公園の工事について従来公共工事は、地域に対する経済効果というのも役割のひとつかなというように感じておったのですけれども、どの観点からリース契約になったのかどうか教えていただきたいと思います。</p>
社会教育部	<p>今回他の施設についても、LEDの更新という形で予算が上が</p>

っていると思います。管財契約課また財政課とも協議をいたしまして、大規模な工事で照明を変えるものについては、リース契約で考えてきました。その他の工事でするものにつきましては、市内事業者で応札していただけるようなこと、地元に戻元することを考えながら、リース契約と、工事とに分けて予算化をしております。地元企業に対応することを考えて、予算上、リース契約と工事とに分けて予算化しています。

原田副座長

主観を言いますと、この表を見せていただいておりますと何となくリース契約のほうが、メリットが多いというように導いてあると言ったらおかしいですが、そんなふうに感じてしまうところもあります。例えばデメリットに従来工事で「民間相場の2倍程」ということが普通に書いてあったり、当然職員としては、入札といいますが工事を決めるときに、専門的な知識の部分でもあり、リースがいいみたいなところが表現してあると思うのですけれども、例えば一級建築士会というのがあると思うのですが、その辺の人と上手く連携しながら専門的な部分はその人に任せて業者と対応するというような方法もとれるのかもしれないと思ったりもするのですが。

社会教育部

従来から工事につきましては、公共事業の公共単価に置き換えたときに、直接工事費にかかる諸経費の割合というのが公共工事は、約2倍となっております。その関係もあるため2,000万円ということをおっしゃっていただきました。公共工事に伴う諸経費を格段に落とせば、また違うシミュレーションになりますが、公共事業として、業者の利益の部分もございまして、あくまで公共単価で示した場合は直接工事費に対して諸経費が2倍という想定工事金額になりますのでシミュレーションとしてご理解ください。

向井座長

文化財保存活用費に関し、八上城についての保存活用計画を令和5年度と6年度の2年間で定められるということですが、おおまかなスケジュールと、今回選ばれた委員の方はどのような方が入れているのか確認させていただきたいと思います。

社会教育部

スケジュールでございますが、2ヶ年の最初の年度は、基本的な現況の把握、今後の活用に向けての方向性について検討させていただき、2年目にはそれをまとめるような形になっていこうかと思っております。ただ、前の八上城の保存管理計画と大きく違う点は、活用の部分についてさらに踏み込んだ調査研究を行い、今後の方向性を示していかないといけないと考えています。例えば農林振興と観光

をくっつけるとか、あと参加体験型の整備を充実させていくなどです。内容については、専門家の先生、また地域の方々にお尋ねしながら、作成したいと考えています。

次に、委員会の体制でございますけれども、18年前にもいろんな先生方にお世話になりました。今現在篠山城のほうにも、専門の先生にたくさん関わっていただいておりますので、相談しながら、検討しているところでございます。

安井委員

計画策定は2年とのことですが、委託料については2年分としての計上ですかそれとも毎年計上されるのでしょうか。

社会教育部

単年度分の予算です。

安井委員

委託先はどのようなところへ委託されるのですか。

社会教育部

篠山城の報告書を手掛けたような業者とか山城も取り扱っている機関や業者から選定させていただく予定です。

■中央図書館、田園交響ホール

中央図書館、田園交響ホール より説明

足立委員

図書館管理運営費に関し、半年分のリース料ということで説明を受けましたので、来年度からこの倍の支出ということになると思うのですが、それはそれでいいのかという点と、あとLEDについては10年ぐらい寿命があるということで、うちの商店街も全部LED化したのですけれども、突然切れることはないのですが、徐々に照度が落ちてくるということで、最近よく夜暗くなってきたといわれることがあります。切れて更新するというのは誰が見ても分かるのですけれども、徐々に暗くなっていくということなので、先ほどの西紀運動公園もそうですけれども、徐々に徐々に暗くなっていくのは、例えば5年ぐらいで検査を行って器具を交換するというようなことも契約事項に盛り込まれているのか、それとも10年間はそのまま利用して、10年後ぐらいに更新するという計画なのか。照度について、何か契約の際に取り決めを行う予定があるのかどうかお尋ねします。

社会教育部

照度につきましては、LED照明については、対応時間で言いますと、約4万5,000時間というのが、一般的にうたわれている時間になります。おっしゃるように、徐々に照明が暗くなっていくというようなことも懸念はされますので、その辺りは契約条項の中で、業者と詰めていきたいと思っておりますし、また保守点検に

についても、この契約の中で実施していく形になりますので、照度の関係も含めて、保守点検で確認をしていこうと考えています。費用の件ですが、本年度については10月からですので、半年分になりますけれども、来年度以降は、1年間となりますのでこの倍の金額となります。

安井委員

図書館の照明がLEDに変わるということですが、蛍光灯とか水銀灯がすごく高い位置に設置されているので、切れたら交換が大変だろうなと思って今まで思っていました。ですので、LEDになったら交換の頻度が少なくなるのでいいことだろうなとは思いますが、照明がすごく高い位置にあるので、本を読まれるところまでの距離が遠いと思っています。もう少し低い位置にずらしたほうが、本を読む人にとっては明るくていいのではないかなと思ったりするのですが、図書館の本を読むのに必要な明るさは決まっていると思いますが、もう少し明るくした方がいいのではないかと思うのですが、現状を教えてくださいのと、もう少し明るく出来ないのかお尋ねします。

社会教育部

施設の構造上、基本的には今設置している照明と交換してLEDを設置するという考え方になりますので、高さの調整というのは難しいのですが、LEDの照度は図書館にふさわしい明るさについて業者とも調整して進めていきたいと考えております。また、現存の照明は、蛍光灯ですが、LEDに変わることによりまして、利用者に気持ちよく使っていただけるような明るさが保てるというように考えておりますので、その辺りは業者と調整をして進めさせていただきたいと思っております。

隅田委員

教育費雑入に関し、文化芸術活動再興支援事業補助金ということで、新型コロナウイルス感染症の関係でこの3年間活動が出来なかったことに対し文化庁から補助をもらうのだと思うのですが、補助金を出される文化庁の考えを少し説明していただきたいのと、丹波篠山ワクワク音楽祭と声優朗読劇フォアレーゼン事業が採択された経緯を簡単に説明していただければと思います。

社会教育部

今回の文化庁の補助金につきましては、説明に申し上げたのですが、文化芸術の需要回復ということで、今まで新型コロナウイルス感染症により、公演等が中止となったりした関係で出演者の方は大変生活も苦しくなってきたということで、そういった出演者の方、また、観覧されるお客様も見ることがなくなってしまったので、再

	<p>度文化芸術を復興させるという意味での需要を回復するという事業であるのともう一つは、地域を活性化していこうということで、それぞれの地域での文化の芸術を発展していくための事業のために補助金を活用するということになっております。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>文化庁の補助金については、3年目を迎えており、来年以降どうなるか分からないということを今の段階では聞いております。ただこの3年目の分に関しましても、発表されたものが予算要求時には間に合わない時期でした。芸術文化団体協議会という全国的な組織があるのですけれども、そこが主体となりまして、我々にも呼びかけをいただいて、そこを通して文化庁に申請をさせていただいたというような経緯です。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>そうしましたら、当市がこの2つの演目の推薦を依頼をして、それが通ったという認識でいいでしょうか。</p>
<p>社会教育部 安井委員</p>	<p>そのとおりです。 教育使用料に関し、交響ホール市主催事業使用料について71万5,000円減額補正されますが、入場料はいくらからいくらに下がったのでしょうか。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>当初、一般利用者が4,500円であったものが3,500円、友の会グループ割が4,000円であったものが3,000円。今回新しくS席といたしまして、4,000円の категорияで一部席を設けております。</p>
<p>安井委員</p>	<p>S席はいい場所だと思うのですけれども、何席ぐらいがS席に当たるのですか。</p>
<p>社会教育部 齋藤委員</p>	<p>S席は50席を予定しております。 社会教育部のLED化の件でお尋ねするのですが、電気代としてLED化すれば大体2割ぐらいしか下がらないと思うのですが、資料を確認すると35%ぐらい下がっているように見えるのですが、このことについて教えていただきたいのですが。</p>
<p>社会教育部</p>	<p>現状の使用電力量と、変更後の電力量につきまして、現在年間の消費電力が14万366kwhで、交換した場合に電力量が3万8千434kwhというところで、今の電力の約30%の金額になるという形になります。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>西紀運動公園も表を見ましたら、大体20%ぐらいにしかならないのに、何でここだけが30%以上の金額になるのでしょうか。</p>
<p>向井委員長</p>	<p>再度調べていただいて資料を出していただくということでよろし</p>

いでしょうか。(後刻回答 下記のとおり)

議員の皆様は、御手元のほうにシミュレーションのこういったデータをお渡しさせていただいておりますので、そちらを御覧ください。その中で3ページになります。資料の1番上の右端に、削減率73%という数字をあげております。この数字につきましては、それ以下の資料で、既存の社会教育部の各照明の種類ごとに削減率をあげておまして、その積み重ねが73%の削減ということになりますので、電力料が27%に下がるというシミュレーションになっております。

■こども未来部

子育て企画課 保育教育課 説明

【主な質疑】

隅田委員

児童福祉一般事務費に関し、保育士の資格取得についてですが、経費10万円を補助するというので、半年から1年と書いてあるのですが、どのようなスケジュールで勉強したら資格はとれるのか、また大学へ実際に行く必要があるのではないかと思ったりもするのですが、大学へ行った場合にはその日は勤務外となるのか勤務日として見てもらえるのか、その辺りについて保育士取得に対しての説明をお願いしたいと思います。

こども未来部

保育士資格取得につきましては、通信教育で資格取得をすることを前提として計画をしております。通信教育講座を受講することで、約半年から1年、2年以内には、保育士の資格を取得できるようにカリキュラムが組まれておりますので、それで資格取得できるものと考えております。実際に大学等に行かれることもあるかもしれませんが、仕事をしながら大学に行こうとすると1日2日の休みでは、通学もままならないと思いますので、今回は通信教育講座を主に考えております。それから先ほどいただきました質問で、もし大学に通学する場合には勤務の扱いをどうするかということでございますが、今のところ、年次休暇を取得していただいて大学に行っていただくこととしています。

隅田委員

今の説明では通信教育だけで一切大学に行かなくても、資格はとれるというような説明だったと思うのですが、そういう認識でいいのでしょうか。

こども未来部

おっしゃるとおり、通信教育講座で全ての単位を取得するこ

安井委員	<p>とが可能ですので、そちらのほうで進めたいと考えております。</p> <p>おいでよささっ子遊具設置事業に関し、工事請負費800万円が計上されていますが、どのような遊具や場所に今計画されているのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>地区につきましては、今年度、西紀北地区と今田地区を予定しております。場所については、市が所有する土地という形で、各地区の中で選定していただくということで進めていく方向となっております。また遊具につきましては、全体予算金額で800万円の予算を示しておりますので、1地区400万円の予定で、今後予算が決定をいたしました後、各地区と相談をさせていただきまして400万円の基本範囲内で整備ができるような形で協議を進めたいと考えております。</p>
安井委員	<p>設置場所が市有地ということでしたけれども、既存の公園のようなどころではなく、空き地とかそういうところに設置されるというように理解すればいいのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>現在、市の土地で遊具が設置してある場所でも構わないという形にしており、空き地でないといけないということではなく、例えば以前、設置をされました後川地区でしたら、後川小学校跡地に遊具設置されておりますので、遊具を増やすという形の観点からも設置が可能となっております。</p>
隅田委員	<p>子供たちは砂場で遊ぶことが大変好きというような認識を持っているのですが、場所、場所が無理なところもあるかもしれませんが例えば遊具の近くに砂場を設置するような議論はなされてはいないのでしょうか。</p>
こども未来部	<p>今、言っていたとおりの昨年度、日置地区では、砂場の設置もさせていただきました。また、地元との協議の上で、そのような要望がありましたら、砂場の設置についても考えていくこととしたいと思っております。</p>
足立委員	<p>今の遊具設置について、質問させていただきたいのですが、本市で策定しておりました再生計画等でも、箱物といいますか新設工事はしないという方針で来まして、箱物と言われるものは全然建築もしていないのですけれども、この施策の事業につきましては、数カ所に数百万円かけて設置ということで、1つにまとめたらかなり大きなボリュームのある金額になっているのですけれども、これについての維持管理や将来何十年かしたら傷んでくるのではないかと思</p>

ますが、そういう場合に、更新する計画、長期財政計画等には反映してあるのでしょうか。

こども未来部

おっしゃっていただいているとおり1ヶ所に対して、数百万の金額をかけて遊具設置をしているところでございます。遊具設置につきましては、いろんな声を聞かせていただきまして、車に乗って遠くへ行くのではなく小さな子供たちが自分の家庭の近くで遊べる場所が欲しいという多くの言葉をいただきまして、各地区に設置をさせていただく取組を進めているところでございます。維持管理につきましては、法定点検などにつきましては、市で行っていく予定をしております、日常の目視点検については各地区のほうに依頼をしているところでございます。しばらくの間は、新しく設置したものですので、壊れたりということはないとは思いますが、維持管理もきっちりとしていく所存でございます。

原田副座長

次世代育成支援対策事業に関し、11月に予定されております保育教育就職フェアのことですけれども、非常に期待が持てる大事な事業かなというふうに思います。募集も大変かと思いますが、募集を終え、本市に来ていただいて、丹波篠山市で働こうというように思っていただけのようになればいいと思いますが、今回はこれで心をつかむみたいな目玉みたいなものがあつたら、聞かせていただけたらうれしいです。

こども未来部

お配りしております資料の8ページになります。保育教育就職フェアの内容は、案ではありますが、11の内容を予定しております。その中で、丹波篠山市の幼児教育「ふた葉プロジェクトの上映」ということで、丹波篠山の自然の中で、笑顔で保育をする現場、そういったところを大々的にPRする予定です。実際に四季の森生涯学習センターを場所としておりますので、その隣にあります味間認定こども園で、実際の保育現場を見学いただきまして、この丹波篠山市の幼児教育のすばらしさをこの機会に伝えていけたらと思っています。その中で、保育士人材等を確保できればと考えております。

隅田委員

放課後児童対策事業に関し、多紀児童クラブの保育室屋根裏にアライグマの大量の糞がたまっているというような今説明があったのですが、アライグマは何年ぐらい侵入していたのか、また今現在どのような対策が講じられているのでしょうか。その辺りもう少し詳しく説明お願いしたいと思います。

こども未来部

このアライグマの侵入が判明したのが昨年度末になっており

<p>隅田委員</p>	<p>ます。昨年の末、天井裏にある一部分に糞が堆積をしている状況で屋根裏全体にということではございません。現在のところ、アライグマは出ており、穴を塞いで入らなくしている状況でございます。</p> <p>令和4年3月ぐらいに分かったということですが、令和4年度が過ぎて令和5年度に清掃作業を実施されるということですが、令和4年度で実施しないといけないというような緊急性はなかったのでしょうか</p>
<p>こども未来部</p>	<p>市の担当課とも話をさせていただきまして、緊急で処理をしなくても衛生上は大丈夫、ただ長い間置いておくと、糞の腐敗が始まり天井等に染みが出来たりするので、極力早く対処したほうがいいのではないかとということで今回補正に上げさせていただいております。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>アライグマの糞があると分かった段階で、緊急性があるのではないかとというような認識がありますので、今後またこういう事態が他の場所でも起こりましたら、早めに対応してもらったほうがいいのではないかなと思います。</p>
<p>足立委員</p>	<p>児童福祉一般事務費の資格取得支援助成金について、いい事業だと思うのですが、5人と設定された根拠だけ教えてください。</p>
<p>こども未来部</p>	<p>現在も資格を持たずに、保育園、こども園で働いている職員の中で、今私が把握しているところで、2名の職員が自主的に学習を進め保育士資格の取得を目指していると聞いております。そういったところから、全体にこの事業を進めたところ、5名程度であると考えました。</p>
<p>向井座長</p>	<p>次世代育成支援対策事業に関し、第3期子ども・子育て支援事業計画を立てられるということで、詳しく資料もいただいているのですが、こども家庭庁が出来たり子育て支援を大幅に拡充していこうという国の大きな流れがあったりします。第2期の子ども・子育て支援事業計画の中では、私も一般質問させていただいたときに、予測していた事業の見込みと実際のニーズが違って、待機児童が出たりというような状況になったというような答弁をいただいたことを覚えているのですが、大変今難しい時期ではないかなと思います。この1、2年はすごく社会も変化し、ニーズも多様化すると思うのですが、実際にはプロポーザルで専門家の方に任されるということですが、担当部署としては、どのように考えられているのでしょうか。</p>

こども未来部
す。

ニーズの把握の分について本当に難しいと私も思っています。

以前、一般質問でお答えしたときの答弁としては、抽出により各地区にアンケートを取らせていただいたのですが、一定数しか回答が取れなかったのが全体をつかめなかった。なので、大きく見込みが変わってきているというような答弁を私もしたように思います。どこまで正確につかむかということになれば、1人1人からニーズまで聞かなければいけないというように思うのですけれども、かといってそれを聞き過ぎますと全体としての取りまとめが非常に難しくなってくると思いますので、今回につきましても、抽出しアンケートをとらせていただくように考えています。それ以外でも、いろんなところに出向いて行かせていただいたり、お話しする機会もありますので意見を聴取していきたいと考えております。実は、先日子育てに関係する団体の皆さんに集まっていただいて、市が取り組んでいる子育ての支援計画、事業はどうですかということで、お話を聞かさせていただきました。実際に子育てされている方がどう思われているのか生の声を直接聞く機会も大事だろうというように思いましたので、先般そういう機会を初めて設けました。今までそういう機会を持っていなかったのですけれども、今回はできたらいろんな子育て施設でどんな事業がなされているのか意見、情報交換が出来たらなあということもありましたので、直接子育てに関わっておられる団体の皆さんの声も、全部が全部聞けないかもしれませんが、要望等の意見等も出ると思いますので、そういった機会もいただいて、保護者の方達はどのようなニーズをお持ちなのかそれを踏まえて、進めていければというように思います。それ以外でも、いろんなことで要望とかがあると思いますので、その都度、要望を聞かせていただいて、公式的にはアンケート調査ということになるのかと思うのですけれども、その2つを合わせたような形でしっかりとニーズ把握をしていきたいというように思います。

私も先般こども家庭庁に行かさせていただいて、話も聞かせていただきましたが、非常にニーズ把握というのは難しいです。どこまで把握をしていくのかということについては、いろんなところのつながりを大事にして十分聞きながら、どのような方向がいいのかどこまでできるのかしっかりと計画の中で検討していきたいと思っております。

向井座長

次世代育成支援対策事業に関し、保育士人材確保事業の件で保育・

教育就職フェアについて複数回実施される意図は何なのでしょう
か。

こども未来部

この保育士等人材確保事業といたしましては、市の施設に集まっ
ていただいて、本市の職員として就職したときの給与面等について
相談を受ける機会として実施をさせていただくものと、あと実際に
園を見学していただくツアーという形で企画しております。
この就職フェアにつきましては、私立の園等と一緒にイベント
事業を実施したいと考えております。対象者といたしましては、
これから就職を考えようとする大学生の方や、高校生の方も自由に
参加できるようにということで考えております。加えて、今、免許
は持っているが実際には働いてないという潜在保育士と言われる方
についても、働いてみたいという機会につなげていきたいと思っ
ています。内容的には、対象者は同じですけれども、園の保育現場、
また幼稚園の現場を実際に見ていただいて、体験していただく、丹
波篠山市の教育というものを体験していただくものとして、見学バ
スツアーを企画しています。こちらについては2回の開催を考えて
おりまして、1回目は8月から9月頃、2回目は2月の中旬頃の予
定で、各回とも2園から3園程度施設を見ていただき実際の現場を
体験いただく計画で、両事業合わせて3回実施する予定とさせてい
ただいております。

こども未来部

今回の補正予算で計上させていただきましたが、本来ですと
当初予算で計上させていただいて、来年度の保育士の採用というよ
うにできればよかったですけれども、骨格予算の編成の為出来な
かったので、施政方針でも市長から話したとおり、1つ目は即戦力
になってもらう保育士をとにかく確保しないと駄目なので、通信教
育での助成によって保育士になってもらう人を1人でも増やしてい
きたい。都市部では、いくらでもお金を配って保育士を集めている
ような施策をしておりますけれども、丹波篠山市はそこまでしなく
ても、何とか丹波篠山の魅力を感じていただいて、新卒の大学生、短
大生の方に、できれば私たちは市内の方に来てほしいなというふう
な思いがあります。ただそれが十分PRが出来ていない状況でもあ
りますので、園見学バスツアーについては、大学までバスを出させ
ていただいて、本市に連れてきて、現場の様子を現場の皆さんから
聞いていただくというように考えています。大学の授業の日程とか、
保育の実習とかいろんな日程があると思いますので、そういった日

程も踏まえた上で、2回開催するほうが学生さんも参加しやすいだろうということで2回の開催としています。保育・教育就職フェアについては、来年度も継続して実施することになれば、令和7年度の採用に向けて6月ぐらいの実施が1番いいのかなあというように思っておりますが、本年度は6月補正で計上することになりましたので、大学3回生の皆さんに、見ていただこうとしています。いろいろな手だてをして少し遅いかもしれませんが、取り組んでいきたい。あわせて、もう1点だけ長くなりますけども、今月広報に保育士するなら丹波篠山ということで、掲載しています。国においても、保育士が足りないのはこの自治体も同じですので、中学生、高校生に、保育士の魅力を感じていただいて、いつでもやってもらえるのが増えるようにということで、その三つを柱にして、取り組んでいきたいということで施政方針で市長から話してもらったという事です。

向井座長

幼稚園預かり保育事業に関し、特別な支援が必要な園児があり、会計年度任用職員の方1名を採用するというのですが、差し支えない範囲で園児の様子と、どのような会計年度職員を募集されようとしているのか教えて下さい。

こども未来部

該当のお子さんはおむつを着用していて、まだ排せつが自立していない状態です。言葉でのやりとりもまだ確立していないであるとか、少し多動傾向もありまして、1ヶ所にじっとしておられず、飛び出してしまいう状態でした。「こどものおしろ」で預かっているお子さんの人数も年々増えておりまして、3人の職員でお子さんが加わってくるとなると安全面で問題が起こるのではないかとということで、急遽、指導補助員を1名増員しております。その指導補助員は、3月末まで、たきこども園で勤務をしております。同じような、指導の補助にあたっておりました。それから、他の園でも子どもに関わる仕事を長年されてきている方ですので、資格を持ってはいないのですが、子どもとのかかわりはたくさん経験されている方ですので、安心してお任せができる人と思って採用のほうをさせていただいております。

足立委員

私立認定こども園運営事業費に関し、コロナ禍における物価高騰に対する生活支援として給食費を無償化することについて理解は出来そうですけども、きちんと理解できるように保護者には周知してあるのでしょうか。心配するのは、今回は限定的な措置で無料化します

が、また将来的にはお金をもらいますと言って周知できているのでしょうか。あと、私立認定こども園保育環境改善事業補助金が返還されますけれども、通園バスの安全装置は全部設置されていると認識したらいいのでしょうか。

こども未来部

まず、バスの安全装置の件につきましては、こども未来部が担当しております私立の富山こども園が1台バスをお持ちになっておりまして、そちらにつきましては4月の段階で、設置をされております。それと給食費の減免、無償化の件につきましては、対象となりますのが7月分から考えておりまして、8月は夏休みで来ないお子さんもおりますので8月は飛ばしまして、9月から年内の12月までというように考えております。7月からということになりますので、無償化をしますよということにつきましては、保護者に向けて、これからお知らせの文書をお配りして周知をしっかりとしていきたいと考えています。その際に、12月までですというようなこともきちりとお示しをしていきたいと思っております。予算の市長査定の中でも3月末までという意見もありましたが、そこまでやりますと、次の年度払っていただけるかどうかというところも難しい部分もあるというところで、年内で線を引こうかというような話もございましたので、そういった形で、保護者にはしっかりと周知をしていきたいと思っております。

■行政経営部

管財契約課 財政課 説明

【主な質疑】

足立委員

市債に関し、脱炭素化推進事業債等の償還期間は何年間なののでしょうか

行政経営部

地方債の償還期間につきましては、国等があらかじめ示す償還期間の範囲内でかつ事業を行うものの耐用年数の範囲内ということでございます。LEDは大体10年から15年程度もつということで、今回の地方債につきましては、15年の償還を計画しております。据置き期間は、国等の示す範囲内の3年で行います。結果、15年償還の3年据置きということでございます。

安井委員

財産管理費に関し、王地山の市有林の高木の伐採をするということなのですが、伐採したらごみになってしまいますので、薪ストーブを利用されている方達に、伐採した樹木を利用してもらおうよ

行政経営部

うな仕組みや、情報提供とかは出来ないでしょうか。

そこまで検討していなかったのですけれども、実際伐採した後は、ゴミとして処分費がかかったりしますので、保管できる場所等も含めて今後検討いたします。

■学校教育部

学校教育課、教育研究所、学事課 説明

【主な質疑】

安井委員

教育研究所事業費に関し、印刷製本費の件ですが小学校5、6年生を対象として地元の歴史、文化を学ぶためのガイドブックを作成し、4年分を印刷するということでしたが、合計何冊印刷されるのでしょうか。

学校教育部

今のところ1年生から4年生までの児童数プラスを見て、1,600部印刷することとしております。

安井委員

内容の改定というかアップデートについては、印刷をされる毎にされているのでしょうか。

学校教育部

内容の改定については、これまで3回行ってきております。今年度は、一部改定ということで年表等の記入を増やすということにしております。基本的に増刷です。

安井委員

学校教育総務費に関し、校務支援システムを導入されるということですが、近隣の市ではどの程度今導入されているものなのでしょうか。

学校教育部

兵庫県内の直近の情報ですけれども、未整備の自治体が4自治体となっており、洲本市、養父市、宍粟市と当市となっております。

安井委員

他の自治体では、既に導入されているのですから、ノウハウがあると思います。既に確立されていると思うので、何社かある内、本市に一番適しているものを選ばれているとは思いますが、その辺りについて説明をお願い出来ますか。

学校教育部

本市で、このシステムを取り入れるにあたって今考えているところは、基本的には校務に関わることを考えております。内容としましては、児童生徒の名簿管理、それから名簿から付随する各帳票それから通知表、指導要録などを入れる予定にしております。これらのシステムについて、他市で入れられているところがあり、各メーカーで工夫改善されてきております。それを原則その形で導入

安井委員 学校教育部	<p>させていただこうと思っておりますが、本市でもこれまでに、エクセルをベースに、各学校の先生方が独自につくられているシステムがありますので、そのシステムにも形をできるだけ寄せていけるように、業者と相談しながら進めていこうと考えているところです。</p> <p>これはいつから現場で使われることになる予定なのですか。</p> <p>入札契約後、12月を目途にシステムを構築させていただく予定です。1月から3月を仮稼働期間ということで、利用者向け研修を行い、来年4月から本格稼働する予定にしております。</p>
隅田委員 学校教育部	<p>教育費補助金について、1人1台端末の本格的な活用を展開するにあたり兵庫県下の全市町が参画し、連携を実施するという説明だったと思うのですが、どのような目的のためにしようとしているのか詳細に説明をお願いしたいと思います。</p> <p>県下全域で、市町が参加するというのはGIGAスクール協議会のことで、年3回協議会を実施して情報交流をする会を実施することです。協議会を複数市町村が組織することによって、国から県への補助率が3分の1から2分の1に上がるということで県からの呼びかけがあり、本市もそこに参加しています。ただ、それは協議会ですので、運営支援センターとしての機能は、あくまでも各市町村で整備することになります。本市では教育研究所の情報通信技術支援員が、サポートにあたっています。</p>
隅田委員 学校教育部	<p>当市のGIGAスクールの進捗状況というものは、兵庫県下において、どのぐらいのレベルなのでしょう。</p> <p>正確なデータに基づかない発言になりますがお許しください。各年度末に情報教育の進捗状況に関する調査が、文部科学省で行われています。それに、各先生方が、自分はどれぐらいできるのかということを自己評価していただいています。その数値を見ますと、「ほぼできる」、「まあまあできる」と答えた割合は、どの質問も90%近くになっています。記憶にあるところでは88%、89%あたりの数字が多かったように覚えていますので、現場の先生方の認識としては、ほぼできる、使えるという認識を持っておられると考えています。</p> <p>あと、GIGAスクールや情報教育に関わる研修会等において講師から感想をいただいたときには、丹波篠山市の先生方はよく工夫して使われておられる学校が多いですねというように聞くこともありましたので、平均よりは進んでいると考えています。</p>

向井座長	<p>スクールバス管理事業に関し、篠山養護学校のスクールバス1台増やすという説明だったのですけれども、1番長い人で1時間20分ぐらい乗っておられる児童がいるということなのですけれども、1台増やすことによって、その問題は解決されるのでしょうか。</p>
学校教育部	<p>1番長い方で、1時間20分乗車されています。5台運行しているのですが、4台が1時間を超えており、もう1台につきましてもほぼ1時間の状態となっております。5台あるのですが、乗車人数も増えてきていること、また特性があるお子さんもあり、隣の席を1席あけないといけないこと。また、手荷物が沢山ある際は窮屈な状態です。そして、今年度は卒業生の見込みが少ないので、来年度も人数が増えていくであろうということで、今年度買わなくては来年度より1台増やせないで、補正で要求させていただいたということです。また、1台増やすことによって、近隣を1台で回ることが可能となるため、遠くから来るバスの停留所が減る利点があるため、おおむね全てのバスが乗車時間1時間以内になるように来年度計画をしていこうと考えております。</p>
向井座長	<p>バスが増えるということなのですけれども、その運転手も増えるということでしょうか。</p>
学校教育部	<p>来年度は添乗員と運転員1名ずつ募集をかけていく予定です。</p>
<p>■東部学校給食センター、西部学校給食センター 【主な質疑】</p>	
<p>今回の補正に関する質疑なし</p>	
<p>■企画総務部</p>	
<p>秘書広報課 ブランド戦略課 総務課 より説明</p>	
<p>【主な質疑】</p>	
安井委員	<p>市内高校応援事業に関し、市内高等学校在り方検討会を設置し、検討されるということですが、どのような方を委員に選ばれるのか、また、公募委員も選ばれるのか、その辺りについて詳しく説明願えますか。</p>
企画総務部	<p>委員につきましては、市民の方から公募をしたいというように考えております。また、どのような方に委員をお願いするかにつきましては、まだ詳細に決まっておられませんので、今後早い段階に決定をさせていただいて、委員を選出していききたいというように思っています。</p>

	おります。
安井委員	第1回目の検討委員会は、いつ頃開催する予定で進められようとしているのですか。
企画総務部	8月中に、第1回目の検討会が開催できればというように考えております。
隅田委員	名誉市民故河合雅雄先生を顕彰する事業費に関し、先程の説明の中で市民を奨励する河合雅雄賞を設置するというような言葉を言われたと思うのですが、どのようなイメージの賞を検討しているのか、説明願います。
企画総務部	河合雅雄賞の設置につきましては、委員の皆様から意見をいただいた段階でして、これから具体的にどのような賞ができるか、奨励賞をお渡しすることで励みになるような賞が設置できるかということ、今後具体的に検討していきたいと考えております。今の段階では意見をいただいて、これから詰めていくという状況でございます。
隅田委員	金沢市は、地元から出た文学者の泉鏡花文学賞を創設して50年ぐらいたつと思えますが、1番の方には賞金100万円も贈呈し認定しておられます。動物の分野なのか、子供と自然の分野なのかわかりませんが、全国でそういったことに取り組んでおられる方を、取上げて顕彰できれば、河合雅雄賞が全国を対象とした大きな賞なのですというふうに認識されると思えますので、またそういうところも考慮しながら検討してもらえればと思えます。
企画総務部	貴重なご意見いただきありがとうございます。今、おっしゃっていただいたとおり、本当に権威のある大きな奨励となる形で、具体的に河合雅雄賞への設置に向けまして検討してまいりたいと思えます。
安井委員	河合雅雄先生を顕彰する場所が、市民センターの図書コーナー内に場所が決まってよかったと思っているのですが、そのコーナーに、是非河合先生の肖像画のようなものがあつたらいいなと思えます。何ヶ月前、委員会視察で岡山県の総社市に行ったのですが、市民ホールに名誉市民の方の肖像画が飾ってありました。もちろん書籍とかいろんなものを置くのはいいのですが、ぱっと見てこの先生を顕彰しているのだというのが分かるようなものがあればいいかなと思いましたので、是非そういうことも検討していただければと思えます。

企画総務部

今提案いただいた内容は以前の委員会でも、提案いただいたと覚えておりました、写真だけではなくて、雅雄先生を特徴的にイメージでとらえられるような絵画という御提案については、大切なまた有効な提案だと思います。今回の検討委員会の委員の方々の中に、銅版画を製作される方がいらっしゃいます。実際にその先生は、河合雅雄先生と親しくされていたので、河合雅雄先生の顔の特徴をとらえた版画も制作をされている方です。委員会の中でも、そういった技術をお持ちの方もいらっしゃるの、ロゴマーク的なものにするのか、それを引き延ばして大きな先生のイメージ図、肖像画のようなものになるのかは、まだ具体的には分かりませんが、今提案いただいたようなことも踏まえまして、よりよいものにしてまいりたいと思います。

向井座長

先ほどから出ております河合雅雄先生の顕彰スペースの件ですが、最終的にこの場所を河合先生の顕彰の場所に選ばれた理由をお教えください。

企画総務部

市民センターの中でも、二階も含めまして様々な場所を実際に見つつ、検討を重ねてまいりました。この図書コーナーの中におきましても、最終的に今回決定しております右側奥ではなく左手奥に郷土史コーナーがあるのですが、そこも含めて、検討はいたしました。最終的にここに至った経緯については、実際に最後の検討委員会を市民センターで行いまして、委員の皆様にもこの場所を実際にみんなで見ていただいて、そこで意見を交換していただきながら、実際の場所を見た上で、日当たりもよく皆さんくつろいで本を読まれる閲覧の場所にはなっていたのですが、そういう場所であるので、展示のスペースとしてもやはりアクセスがいい、動線がいいということですか、日差しがある程度入る、明るさがある、天井の高さや、広さといったことも含めまして、1番ふさわしいのではないかとということになりました。市民の皆さんが閲覧するスペースがそこにあるので、それを別の場所に持っていくということが必要にはなるのですが、実際にこの市民センターの図書コーナーの最初の設計図では、左側の奥まったところに閲覧コーナーがもともとありまして、今のこの候補地となったところは、以前は視聴覚ブースの場所となっております。利用の便宜上、この図書コーナーのレイアウトを変えられて、今は閲覧コーナーにはなっておりますが、もともとあった閲覧コーナーに戻すことも含めて、市民の方がゆっ

向井座長	<p>くりと図書を読んでいただくスペースの確保は必ず図った上で、今回の場所を顕彰の場所としていきたいと考えております。</p>
企画総務部	<p>この場所を選ばれた理由はよく分かりました。検討委員会の皆様の意見を反映されてというお話をされたのですが、検討委員会は、今年度に入ってから開催されたのですか。</p>
向井座長	<p>今年度につきましては、委員会は開催しておりませんが、具体的な設計や方法について、今後進めていく内容が固まる段階で、また元の委員の皆様にもお諮りしたいと考えております。</p>
企画総務部	<p>今回計上されている予算は、ハード予算ですよね。検討委員会開催に伴う費用や、これからのソフト事業予算は当初予算に計上されていたのでしょうか。</p>
■創造都市課	<p>今年度計上している予算につきましては、検討委員会開催に伴う予算は計上していないのですが、設置検討ということで前回にこの検討委員会でお世話になった皆様に、意見をお聞きしたいと話しておりましたので、この一連の顕彰場所設置の予算の範囲の中で、ソフト事業も含めまして、準備の段階で必要なものがあれば、検討していきたいと考えております。1点だけ補足させていただきますが、検討委員会は3回で、一旦は区切りとさせていただいたのですが、第3回目の会議の中で、今後の進め方については事務局に一任していただくということで、御了承はさせていただいております。ただ経緯は気にはされていると思いますので、御報告なりしながら進めたいと考えております。</p>
【主な質疑】	
隅田委員	<p>地元就職促進費に関し、ノベルティはどのようなものを検討しているのでしょうか。</p>
企画総務部	<p>ノベルティにつきましては、ラインの「しごと情報サイト」へ今回登録をしていただいたときのお礼ということで、500円相当分のクオカード的なものを渡して、登録を促進していきたいと考えています。</p>
隅田委員	<p>ラインにて情報連絡するイメージを教えてくださいなのですが</p>
企画総務部	<p>ラインのイメージですが、今現在470名ほど登録をされています。その方に対して、月に数回程度、情報をこちらから送ることができるようになっていきます。その情報に、いろんな就職のイベ</p>

	<p>ントのことですとか、企業のインタビュー記事等を送らせていただいております。これを高校から進学をする大学生の方に全て登録いただき、丹波篠山市の情報を定期的にお送りすることで、大学等卒業される時期に、地元の企業の情報が入って、地元就職につながっていくというように考えているものでございます。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>送られるのは文字だけですか。イベント開催時の写真や、イメージ図等も送れるのですか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>基本的には、よくお使いいただいているSNSのLINEのところに届くイメージです。ですので、言葉と企業のリンク先のホームページ先ですとか、写真を付けたりすることも可能です。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>補足ですけれども、昨年各企業がPR動画を作成する予算を認めていただき20社のPR動画を作成いたしました。その動画をしごと情報サイトに掲載しておりますので、企業PR的な動画もそのラインの中で紹介できるようにしております。文字だけでなく、動画やチラシ的なものも含めて、お伝えをさせていただきたいというように考えております。</p>
<p>隅田委員</p>	<p>市では、この記事は何名既読したかというようなことは把握できるということでしょうか。また、どういう人たちが、見なかったかということについても把握できるのでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>相手方が見た、見ていないということの把握は、全てできるわけではなくて、ブロックをされたり、登録を退会されたりしたときには、人数はカウントされていきますけれども、見られている内容、その詳細を確認することは出来ないということです。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>補足ですが、ラインの機能としまして、先方が見られましたら既読がつかますので、見られた場合については確認することが出来ますので、既読数は把握出来ます。</p>
<p>安井委員</p>	<p>企画一般事務費に関し、市名変更の検証をされるということで委託料の計上がなされていますが、市名変更する前に依頼していた同じ業者に委託されるのだらうと思うのですが、業者は10年間で52億、50何億かの経済効果があるということを言われていたので、途中経過にはなるとは思いますが、実際の数字、いろんな数字をきちんと検証してほしいなと思っておりますが、この委託先によって結果がある程度分かるのはいつ頃になるのでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>委託先につきましては、平成29年度に実施をしたその際に委託をしました業者と全く同じところで、今回実施をしたいと考えて</p>

おります。前回も、経済への波及効果は52億以上ということで出しておりました。その中で、経済波及効果額として28億7,000万円と、もう1つが市名変更しなかった場合の影響があるであろうという経済的損失額ということで、23億3,000万円を足しまして52億という数字を出しておりました。今回につきましては、そのうちの経済波及効果として、28億7,000万円を出した部分につきましては、丹波篠山市のイメージ調査、市内の特産品の出荷額の変化がどうなったのか又、市外の移住者の実態意識に関する調査ということで、29年度に実施をしました調査と同じような内容で比較検討できるように委託をしたいと考えております。時期につきましては、これから、業者と委託契約を交わす段取りになりますので、できるだけ早い時期に出していきたいと思うのですが、今の思いとしては何とか年明けぐらいには幾らかの結果が出るような形で進めていきたいと考えております。

安井委員

企業振興・誘致促進費に関し、人材育成に2,100万円と非常に大きな金額が今回計上されていますが、大学に委託するということになるのでしょうか。これは人材育成ということなので、投資してもすぐ結果が出てくるようなものではないと思うので、投資に対する評価はしにくい内容かなと思ったりもするのですが、先ほど説明いただいたのですけれども詳しく説明お願い出来ますか。

企画総務部

丹波篠山事業構想プロジェクト研究ということで、提案をさせていただいております。この趣旨は、地域経済の活性化を最終的な目標としております。その中で各企業の中核人材と言われるような中心的な役割を担う人材の育成を進めて企業の活性化、しいては市内経済の活性化につなげていきたいというように考えております。おっしゃるとおり、すぐに効果が見られないところもあるかも知れませんが、これからの丹波篠山市の企業を担っていただく中核的な方が育つということについては、市の財産につながってくるのではないかと考えております。今回のことについては、事業構想大学院大学の提案から、このようなことで提案させていただいておりますが、何とか成功に導いてやっていきたいと思っております。

効果として、1番即効性のあるものと考えておりますのが、丹波篠山市のふるさと納税で一番求められているのは、新しい返礼品をいかに開拓していくかという点もあると思います。今回のこのプロジ

	<p>ェクトについては、企業の新規事業、あるいは新商品の提案というところも含めて、研究を進めていきたいと考えておりますので、新しい商品等が生まれてくれば、ふるさと納税の返礼品の提供にもつながってくるのではないかと考えております。</p>
<p>安井委員</p>	<p>単年度だけなのか、また来年度以降も事業として継続するのでしょうか。人材育成は1年だけでできるとは思いませんので、どのような長期的な計画を持ってこれを位置づけているのか、その辺りについてお尋ねします。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>今回の事業につきましては、年度内執行で事業実施を行いたいと考えております。先ほど申し上げました、今年度中に20回程度、受講者に対しての勉強会といいますか研究会を実施していくわけですが、今年度の途中の段階で、事業構想大学院大学と、あと2、3年続けて事業実施していくのかどうかということについては、取組状況を踏まえた上で、続けていくのかどうか判断していきたいと考えています。他市でもこのような取組を、例えば山形市でもされております。現在のところは1年間きちっとやり切るというところで、来年度以降のことについては、今年状況によって、途中段階になりますけれども、考えていきたいと考えています。</p>
<p>安井委員</p>	<p>この事業については単年度で実施し、来年度以降については途中の状況を見て、判断されるということですが、山形市の事例なんかでは、単年度で終わっているのでしょうか、それとも継続して2年3年と実施されているのか、教えてください。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>山形市の事例につきましては1年間研究をされ、2年目も続けてされているということを確認しております。</p>
<p>安井委員</p>	<p>同程度の予算処置を2年目以降もされたということでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>カリキュラム等についても同じような形で取り組まれていますので、金額ベースとしても、同じような形で推移されていると思います。</p>
<p>安井委員</p>	<p>取り組まれる方は、2年目以降は入れ替わっているのかそれとも継続されているのでしょうか。他市の事例ではどのようになっているのでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>山形市の例でいきますと1年目の研究員と言われる受講者の方は、2年目については、人がかわって受講されているということを確認しております。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>この事業については、昨日の予算提案の段階でも質問いただき、</p>

お答えさせていただいたように、企業人材を育てていくという大きな目標があるのと、それからポイントとしては事業構想大学大学院から提案をいただいて、大学側と協定というような形を結ばしていただく中で実施するということになるのかなというように考えております。財源につきましては、事業の性格上、この中に本来であれば特定財源として計上できればよかったです。そういう仕組みになっておりませんでしたので企業版ふるさと納税という形をとっていきたいというように思うのですが、企業版ふるさと納税の仕組み上、いきなり特定財源として、なかなか上げるのが適切かどうかというような議論もありましたので今回こういう形でさせていただいておりますが、企業の方をしっかりと募って、財源確保をしていくという方向で考えております。

それからこのプロジェクトそのものについては、先ほど課長のほうからもありましたように山形市の例でも、年によって人がかわっていきますので特に起業される方、事業構想ですから非常に大きな話というか非常に専門的な話ですので、山形市のような大きな県庁所在地のところと、丹波篠山市のようなこれぐらいの人口規模のところと、どれぐらいの潜在的なニーズ、大学に入っていて勉強していただいて、また活躍いただける方が人口規模的にもいらっしゃるのかというような課題もあろうかと思っておりますので、そういったことも踏まえながら事業効果を、効果というところまでいかになくても事業の実態を見ながら、次年度以降という形で継続していくのかについても早いうちに見極めていきたいというように考えております。

安井委員

企画一般事務費に関し、シリ丹バレー推進協議会負担金が計上されていますが、県と丹波市と丹波篠山市で、5対3対2で負担するというので今説明いただいたのですけれども、シリ丹バレーも先ほど産官学連携プロジェクト同様に人材育成につながるような仕組みかなというように思ったのですが、どのように棲み分けされているのでしょうか。

企画総務部

産官学連携プロジェクトとシリ丹バレーの考え方と全く一致しております。シリ丹バレー推進協議会として発足して2年目ということで、令和5年度につきましては、負担金計上しています。人材育成を中心に、起業や企業経営、食を生かしたセミナーとかを実施するわけなんですけれども、趣旨としては全く一緒ですので、先般

県民局とも、事業構想大学院大学とのプロジェクトの件については、連携をとってやっていく必要があると話をしているところです。ですので、丹波篠山市の事業としては、やはりこの事業構想大学院大学のプロジェクトを、丹波篠山市としてシリ丹バレーの丹波篠山市の事業としてはこれだというふうな形で、丹波地域全体の動きとあわせながら、取り組めたらなというふうに考えております。丹波市のほうで今回、令和5年度に実施をされようとしております、事業としましては、丹波ウッドバレープロジェクトというのを、令和5年度進めようとしてされておりますが、丹波篠山市として、令和5年度どのような事業実施をしていくかということも、県民局とも相談をしていたところですので、今申し上げました事業構想大学院大学とのプロジェクトについて、シリ丹バレーとも連携しながら進めていけたらと考えております。ですので、趣旨が同様ですので、その辺りについては、県とも連携しながら、また丹波市とも情報交換しながら取り組んでいきたいと思っております。

企画総務部

今御指摘いただきましたシリ丹バレーとの連携というかすみ分けということとあわせて、もう1つは市内で言いますとイノベーターズスクールとのすみ分けというようなことも一定考えておかないと、よく似た形になると思っております。県のシリ丹バレーという関係で言うと地域性の問題とかそれから関西広域連合とのつながりみたいなところが非常に得意なところを有効活用していく必要があるのかなというように思いますし、イノベーターズスクールの場合は本当に起業していただいている方がたくさんいらっしゃって200人以上の方が受講されて50人ぐらいの方が起業いただいているという成果は出ているのですが、比較的小規模な起業をしていただいている方、例えば喫茶店を始めたとかそれから自分でプリンをつくり出したとかですね、パンをつくり出したとか、そういうレベルになりますけれども、この事業構想大学院大学の事業構想プロジェクトというのはもう少し大きなイメージになってきます。また、進化度も深掘りをしたような本当に事業として成り立たせるというようなイメージですので、市内の中でも事例がいいのかどうか分かりませんが、例えばですけれども、老舗商店のところでは、ローカル10,000プロジェクトというものを活用して実施をされましたけれども、ああいう規模のものになっていくのではないかなというように想定をしておりますので、少し規模の問題とか進化度の問題、プロ

<p>原田副座長</p>	<p>フェッショナルの問題というところで、少しすみ分けを考えていく必要があるというふうに考えております。先ほどの質問にもありましたけども、次年度以降どこまでいけるのかということで、お伝えをしたのはそういう深堀をさせていただける方が、規模の大きな山形市と比べたときに、市内でどこまでそういう事業者とかそういう候補の方が出てきていただけるのか、また出ていただければそれにこしたことはないと思っておりますので、そういう状況が見極められれば次年度以降も継続してやっていきたいなというそういう趣旨で、先ほど申し上げましたので、よろしく願いいたします。</p> <p>関係人口創出拡大事業に関し、主観的なことで申し訳ないのですが、事業概要の中で「関係人口の方々へ」とか「関係人口の方々に」とかというフレーズが出てくるのですけれども、もちろん意味合いとしては、丹波篠山市を愛してくださる方々にとという意味としてよく理解できるのですが、文字で見るとよそ者の方々みたいなイメージにとれることもないので、表現を変更できないのでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>関係人口という言葉そのまま記しておりますので、少し冷たいイメージがあるのかなというのは、おっしゃるとおりかと思えます。</p> <p>丹波篠山ファンのような言い方のほうがソフトかなというふうに考えております。その関係人口の言葉の定義等は、なかなか幅広いところがあるのですけども、少し使い方については気をつけたいと思います。</p>
<p>安井委員</p>	<p>ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業に関し、結婚祝い新生活支援事業補助金が今回計上されていますが、対象地域は過疎地域指定のあったエリアと理解すればいいのでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>エリアとしましては旧篠山町及び西紀北のエリアを見込んだ数字になります。実際に、婚姻届を市のほうに出された過去の実績等を踏まえまして、大体エリアで出されるような割合というのを想定しまして、それで乗じた件数を18件ということで導いております。</p>
<p>向井座長</p>	<p>公共交通対策事業に関し、この1年間で公共交通を抜本的に見直す当初予算審査の中でも説明いただいているのですが、今回こういう形で調査始められるのですけども、大体のスケジュールについてどのように考えておられるのでしょうか。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>スケジュールですが、基本的に公共交通会議で話し合う部分と計画策定で業者をお願いする部分と2つあると思えます。基本的には業</p>

者委託をして計画策定、また現状分析等を行いますので、そのスケジュールとしては国庫補助を受ける関係上、年度内の完成を目指しております。大まかな流れとしましては、現在プロポーザルでの実施を予定しております。予算を承認いただきましたら7月に契約をさせていただいて、年度内には大まかな計画の素案をつくりまして、パブリックコメントを経て3月に計画策定というふうに持っていきたいというように思っています。その12月の計画をまとめ上げるにあたりまして、公共交通会議の委員には、9月頃をめぐりにある程度意見を出し合ってもらったものをまとめていきたいというように考えています。

向井座長

公共交通会議の委員と業者と2本立てということですが、意見のすり合わせについてはどのようにされる予定ですか。

企画総務部

基本的には、公共交通会議の事務局であります創造都市課で、意見集約を行ったものを、業者との協議を行い作成していきたいと考えています。

向井座長

ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業に関し、今回過疎債を使って、結婚祝金や出産祝金とか子育て支援金とかいろいろ計上されていますが、過疎指定されている期間のみ考えておられるのか、またそれ以降も継続してされようとしているのでしょうか。

企画総務部

過疎計画については、令和4年度から、令和7年度までの4年間の計画としております。現在、過疎計画に示しております様々な事業については、当然計画の期間の中で、実施していくわけなのですけれども、次の国勢調査等によりまして、過疎の地域指定がどのようになるかというところもございます。また、今行っている施策が、やはり今後、過疎の指定に関係なしに、市として継続する必要があるのかどうかというふうなことも踏まえ、事業を継続して実施していくのかどうかというところについては、過疎の指定も含めて検討していきたいと思えます。

企画総務部

今回提案をさせていただいているのは過疎計画に基づくソフト事業ということで、あくまでもそういう位置づけになっております。エリアとして先ほど、旧篠山町と西紀北ということで、旧篠山町については少なくとも過疎指定が受けられています。西紀北については定住促進地域だということで、市の単独予算で計上させていただいておるわけですが、総体としては結婚祝い金事業とかそれから赤ちゃんのお祝金とかについては、過疎債を活用できるから

過疎計画に基づいて実施するという位置づけでございますので、現段階ではそういう範囲でしかお答えしようがないと考えています。ただ一方で、最近の異次元の子育て支援であるとか、それからそれに絡めて先般から学校の給食の公費負担がどうなっているのか文部科学省が全国的に調査をするということがここ2、3日の間で報じられております。そういった事の前にはもしかしたら、国がいろいろ検討されているのかなというような考えもありますので、将来的なことについてはここでどうこう言えないわけですが、ひとまずは過疎債を充てて事業実施させてもらいますというような現状です。

■議員協議

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば発言をお願いします。

— 部長、市長等への質問等なし —

■意向確認

日程第1 議案第38号 令和5年度丹波篠山市一般会計補正予算（第3号）

—— 修正・反対等の意見なし ——

向井座長 この結果と、本日の執行部との質疑応答及び議員共有を含めた形で、分科会の座長報告を行いたい。報告については座長に一任いただきたい。

—— 異議なし ——

向井座長 また会議録等については事務局に調整させ正副座長において内容確認を行いたい。

—— 異議なし ——

原田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

15 : 10 散会